


道路ルネッサンス研究会 報告書(案)

(概要版)

平成18年6月26日



目次

▶ 道路ルネッサンス研究会委員名簿及び検討経緯	1
▶ 1. 従来型の道路行政の課題	2
▶ 2. 今後の道路に求められるニーズ	4
▶ 3. 現行の道路法の体系等	8
▶ 4. 検討の方向性	9
▶ おわりに	18
▶ 〈参考〉 道路法の体系	19

道路ルネッサンス研究会委員

(五十音順・敬称略)

屋井 鉄雄(委員長)	東京工業大学 総合理工学研究科教授
秋岡 榮子	経済エッセイスト
阿野 史子	ルート34ワークショップ 実行委員会委員長
小幡 純子	上智大学大学院 法学研究科教授
岸井 隆幸	日本大学理工学部 土木工学科教授
原 正夫	福島県郡山市長

検討経緯

- ◆ 第1回 平成18年2月15日
 - ・現代の道路に求められているニーズの紹介
 - ・道路局の取組みの紹介
- ◆ 第2回 平成18年4月27日
 - ・ニーズに応えるための現状の課題
 - ・課題解決にあたっての検討の方向性
- ◆ 第3回 平成18年6月5日
 - ・報告書案(骨子)の検討
- ◆ 第4回 平成18年6月26日
 - ・報告書案の検討

1. はじめに ～従来型の道路行政の課題～

江戸時代の「みち」

- ・人々の生活やイベントの場として多様な機能を担う。
- ・官民共同の空間として柔軟に利用。
- ・「向こう三軒両隣」というように、「みち」を中心として地域のコミュニティが形成。
- ・沿道と一体となって地域の個性や景観、文化が創出。



モータリゼーションの急速な進展

戦後の「道路」

- ・自動車交通の円滑化と安全の確保が最優先され、それ以外の機能についてはほとんど考慮されず
- ・道路区域と区域外の明確な区分により、地域と道路との一体性が希薄化



出典: 国土交通省資料

- ・道路に対する国民のニーズが多様化
- ・自動車交通の円滑化に対する根強いニーズ

単に過去に回帰するのではなく、21世紀にふさわしい「人と道路のつきあい方」や「地域と道路の新しい関係」の構築を目的として、新しい道路・沿道空間の形成に関する柔軟な制度について検討を行うことが必要（＝「道路ルネッサンス」の必要性）

2. 今後の道路に求められるニーズ

道路に対する国民のニーズが多様化する中、今後の道路は、自動車交通の一層の円滑化・効率化に加え、沿道コミュニティのニーズや地域の実情、周辺環境との調和などにも対応していく必要がある。これらのニーズについて、次の(1)～(4)の視点に立って例を挙げると、例えば以下のものがある。

(1)道路の利用者のニーズによりの確に答えるため、道路の機能の特化とそれに合わせた整備・管理が求められるもの

(2)道路区域内だけではなく沿道を含めた空間の一体的な整備・管理を行うことによって、より高い道路の機能が発揮されるもの

(3)地域における様々な課題を解決するため、道路としても積極的に貢献していくことが求められるもの

(4)情報化等に対応した、これまでの道路にはない新たなサービスの提供が求められるもの

2. 今後の道路に求められるニーズ

(1)道路の利用者のニーズにより的確に応えるため、道路の機能の特化とそれに合わせた整備・管理が求められるもの

具体的なニーズの例

- ・通学路や中心市街地などにおいて、自動車よりも歩行者や自転車を優先し、また防犯にも配慮した安全な道路
- ・自動車よりもバス・路面電車などの公共交通機関を優先した、公共交通機関の利用者が快適に移動・乗り継ぎができる道路
- ・沿道の開発を抑制し自動車の交通機能を最優先した、速達性が十分に確保された道路
- ・人々の憩いの場、交流の場としての「たまり」空間を有する道路 等



六本木ヒルズ
(出典:(財)道路新産業開発機構資料)



フランス・ストラスブール (出典:国土交通省HP)

2. 今後の道路に求められるニーズ

(2)道路区域内だけではなく沿道を含めた空間の一体的な整備・管理を行うことによって、より高い道路の機能が発揮されるもの

具体的なニーズの例

- ・広幅員でバリアフリー化された歩きやすい歩行空間を有する道路
- ・オープンカフェなどのイベントの場や「道の駅」など、地域住民や企業による地域振興のための活動の場として利用できる道路
- ・歴史的建造物が建ち並ぶ文化的な通りやショッピングストリートなど、魅力的な街並みや地域ブランドの一部を構成する道路

等



国道9号五条大宮拡幅工事
(出典: 京都国道事務所HP)



伊勢市・おかげ横丁 (出典: 国土交通省HP)

2. 今後の道路に求められるニーズ

(3) 地域における様々な課題を解決するため、道路としても積極的に貢献していくことが求められるもの

具体的なニーズの例

- ・ 景観を阻害する電柱、看板等がなく、また、沿道の建築物の色彩・デザインや山の緑、海岸などの自然と調和した美しい景観を有する道路（例えば、日本風景街道など）
- ・ 緑の多い道路や透水性舗装の道路、ヒートアイランド対策のための「風の道」など環境にやさしい道路
- ・ 密集市街地における延焼の遮断機能が確保された、防災上優れた機能を有する道路等



国道58号 名護市屋我地(出典: 沖縄総合事務局北部国道事務所HP)



延焼遮断機能を有する道路(出典: 東京都都市整備局HP)

2. 今後の道路に求められるニーズ

(4) 情報化等に対応した、これまでの道路にはない新たなサービスの提供が求められるもの

具体的なニーズの例

- ・ 普段は立ち入ることができない長大橋などの管理施設を活用した、観光スポットとしての道路
- ・ SA・PAにおける快適で質の高いトイレの設置など、より利便性の高い道路
- ・ 様々な情報(例えば、レストランや観光地、美しい景色を楽しめるスポット(「とるば」)などの地元情報)を収集・提供できる場としての道路 等



八潮PAトイレ(出典:首都高速道路株式会社HP)

道路情報板



「道の駅」での情報提供



道路交通情報通信システム(VICS)



路側通信放送



3. 現行の道路法の体系等

2. で示した国民の多様なニーズについては、現行制度の枠内で対応している事例もあるが、道路法の体系が自動車交通に着目した画一的なものであるため、受け皿として不十分な状況にある。

<現在の道路法の体系等>

- ・道路法においては、高速自動車国道、一般国道、都道府県道、市町村道といった道路の種類ごとに、道路管理者が一元的に管理を行っている。
- ・道路の機能面から分類すると、法律上は、高速自動車国道、自動車専用道路、歩行者専用道路(自転車も含む。)、一般道の4種類しかない。
- ・道路の構造の基準については、これらの機能面や自動車の計画交通量などに応じて車線数、幅員、設計速度などが定められており、自動車交通に着目した構造基準となっている。
- ・道路のあり方・性格の決定手続や計画の作成、それに応じた整備・管理の仕組みに関する制度的な裏付けがないため、様々なニーズに配慮した道路の構造とする等の様々な取組みも一貫性を欠くなど中途半端に終わり、期待した効果が上がっていないものもある。